

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO  
SHINJUKU-KU  
TOKYO 169-0073 JAPAN  
Phone +81(0)3-3362-6764 Fax +81(0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F  
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI  
KANAGAWA 212-8554 JAPAN  
Phone +81(0)44-520-1518 Fax +81(0)44-543-1488

ジョナサン・ノット&東京交響楽団『Season 7』  
2020 年度シーズン ラインナップ  
記者会見 資料

2019 年 10 月 8 日 (火) 15:00~16:00  
ミュージア川崎 市民交流室

<進行次第>

1. 川崎市長 福田紀彦 メッセージ紹介
2. ご挨拶 大野順二 公益財団法人東京交響楽団 専務理事 楽団長
3. 2020 年シーズンについて 音楽監督ジョナサン・ノット 通訳：久野理恵子氏
4. 音楽監督ジョナサン・ノットのプログラミングについて 辻 敏 事務室長
5. 質疑応答  
\*本日の会見では質疑応答の時間として約 20 分を予定しております。ぜひ奮ってご質問  
いただけましたら幸いです。
6. 写真撮影
7. 会見終了

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO  
SHINJUKU-KU  
TOKYO 169-0073 JAPAN  
Phone +81 (0)3-3362-6764 Fax +81 (0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F  
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI  
KANAGAWA 212-8554 JAPAN  
Phone +81 (0)44-520-1518 Fax +81 (0)44-543-1488

## 川崎市長 福田 紀彦 メッセージ



このたび、東京交響楽団の2020年シーズンラインナップが発表され、大変嬉しく思います。

東京交響楽団は川崎市のフランチャイズオーケストラとして、ミュゼ川崎シンフォニーホールで様々なコンサートを開催され、幅広く川崎市の音楽文化の発展及び向上に貢献されてきました。これまで、ホールで行われる魅力的な公演の他、市内の病院・福祉施設への巡回公演や各区役所でのロビーコンサートなど地域に密着した活動も積極的に展開されており、まさに「ホールに住んでいるオーケストラ」として広く市民に親しまれる存在になっております。

ジョナサン・ノット音楽監督がミュゼのステージで繰り広げる斬新で情熱的な音楽を、私も毎回楽しみに聴かせていただき、感動とともに元気をいただいています。

来シーズンはノット監督のいざなう「音楽の旅」もいよいよ折り返しを迎え、ノット監督の大切にするレパートリーの筆頭である「トリスタンとイゾルデ」をはじめ、生誕250周年となるベートーヴェンを中心としたプログラムなど、より一層魅力的な内容となっております。また、日英交流年によるスペシャル・イギリスプログラムにつきましては、川崎市が英国オリンピック・パラリンピック代表チームの事前キャンプ地となっているご縁もあり、こちらも皆様に大きな感動をもたらしてくれるでしょう。

シーズンの御成功を祈念申し上げますとともに、東京交響楽団のますますの御発展とジョナサン・ノット音楽監督の御活躍を併せて祈念申し上げます。

川崎市長 福田 紀彦

## ジョナサン・ノット Jonathan Nott 東京交響楽団 第3代音楽監督 (2014年～)

東京交響楽団第3代音楽監督。古典から現代曲まで幅広いレパートリーと抜群のプログラミングセンスを持つ。

1962年イギリス生まれ。ケンブリッジ大学で音楽を専攻し、マンチェスターのロイヤル・ノーザン・カレッジでは声楽とフルートを学び、その後ロンドンで指揮を学んだ。ドイツのフランクフルト歌劇場とヴィースバーデン・ヘッセン州立劇場で指揮者としてのキャリアをスタートし、オペラ作品に数多く取り組む。1997年～2002年ルツェルン交響楽団首席指揮者兼ルツェルン劇場音楽監督、2000年～2003年アンサンブル・アンテルコンタンポランの音楽監督(2004年～2006年は客演指揮者)、2000年～2016年ドイツ・バンベルク交響楽団の首席指揮者を務めた。2017年1月にはスイス・ロマンド管弦楽団の音楽監督に就任。



2010年、バンベルク響とのCD「マーラー交響曲第9番」を世界で権威あるフランスのMidem音楽賞最優秀交響曲・管弦楽作品部門賞受賞へ導き、オーケストラの知名度を一躍広めた。その多岐にわたる活躍が評価され、2009年バイエルン文化賞が贈られた。2016年7月にバンベルク大聖堂にて開催された同響とのラストコンサートでは、大司教より功勞勲章が授与された。

ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、シカゴ響、ロサンゼルス・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管、チューリヒ・トーンハレ管、ライプツヒ・ゲヴァントハウス管、ドレスデン・シュターツカペレ、バイエルン放送響、サンタ・チェチーリア管など世界一流のオーケストラと客演を重ねている。

レコーディング活動においてもノットの多彩な才能が生かされており、ベルリン・フィルを指揮したリゲティの作品全集(Teldec)や、アンサンブル・アンテルコンタンポランとのエマヌエル・ヌネス作品集、ラッヘンマン作品集、ジョン・アダムズのDVDといった現代作品や、バンベルク響とのマーラー、ブルックナー、シューベルト、ストラヴィンスキーの作品(Tudor)のほか、東京交響楽団とはオクタヴィアレコードから6作品がリリース。なかでも『マーラー：交響曲第10番&ブルックナー：交響曲第9番』が、2018年第31回「ミュージック・ペンクラブ音楽賞」(優秀録音作品賞/オーディオ部門)を受賞した。



←音楽監督ジョナサン・ノット & 東京交響楽団 全公演記録  
(2019年度公演まで) <pdf>

## ジョナサン・ノット&東京交響楽団 2020年シーズンラインナップ 『 ジョナサン・ノット&東京交響楽団 Season 7 』

音楽監督ジョナサン・ノットと東京交響楽団の7年目となる2020年シーズンのラインナップが決定致しました。音楽監督ノットは定期演奏会5公演、川崎定期演奏会3公演、東京オペラシティシリーズ2公演、名曲全集1公演、特別演奏会（第九公演）2公演の計8演目13公演を指揮します。

### 各シリーズ公演について

|                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| 定期演奏会（10公演）<br>ミュージザ川崎/サントリーホール       | 1947年、東京交響楽団の前身「東宝交響楽団」時代に第1回目の公演がスタート。いつの時代も東京交響楽団の「今・そして未来」を感じさせるシリーズ。         |
| 川崎定期演奏会（5公演）<br>ミュージザ川崎シンフォニーホール      | 今やその極上の音響が世界に知れ渡る本拠地ホールミュージザ川崎シンフォニーホールでのシリーズ。定期演奏会から厳選した5つの演奏会をおおくりします。         |
| 東京オペラシティシリーズ(6公演)<br>東京オペラシティコンサートホール | 1998年スタート以来、東響指揮者陣を始め海外で注目の指揮者、アーティストがいち早く登場するシリーズ。週末午後2時開演と、このシリーズだけのシルバー割引も魅力。 |
| 名曲全集（10公演）<br>ミュージザ川崎シンフォニーホール        | 2004年スタートの、今や週末の午後の定番シリーズ。マエストロ（名匠）によるマスターピース（名曲）の数々を堪能できると高い人気を誇るシリーズ。          |

### ——— 2020年シーズンハイライト 音楽監督ジョナサン・ノット指揮 ——— ワーグナー:楽劇『トリスタンとイゾルデ（演奏会形式・字幕付）』 <10月定期・川崎定期>

ノット&東響がモーツァルトのダ・ポンテ三部作の次に挑む演奏会形式オペラは、ヨーロッパ音楽史上燦然と輝くワーグナーの大作「トリスタンとイゾルデ」。しかも第1週目の第1幕は、ワーグナーに憧れ敬愛したシェーンベルクが書いた唯一の交響詩で、「トリスタンとイゾルデ」の影響が随所に垣間見られる「ベレアスとメリザンド」とのカップリング。第一線で活躍する歌手を招聘し、その顔触れも正に豪華絢爛。ノットがこよなく愛し、最も大切にするレパートリーの筆頭に上がる「トリスタンとイゾルデ」は、東響史上最も期待される公演だと言っても過言ではない。

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO  
SHINJUKU-KU  
TOKYO 169-0073 JAPAN  
Phone +81(0)3-3362-6764 Fax +81(0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F  
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI  
KANAGAWA 212-8554 JAPAN  
Phone +81(0)44-520-1518 Fax +81(0)44-543-1488

ワーグナー：楽劇『トリスタンとイゾルデ』（演奏会形式・字幕付）

指揮：ジョナサン・ノット

トリスタン／テノール：ブライアン・レジスター イゾルデ／ソプラノ：リサ・リンドストローム  
ブランゲーネ／メゾソプラノ：クラウディア・マーンケ マルケ王／バス：ミハイル・ペトレンコ  
クルヴェナール／バリトン：マルクス・ヴェルバ  
水夫、メロート、牧童／テノール：アンジェロ・ポラック 舵手／バリトン：高田智士  
合唱：新国立劇場合唱団 演出：彌勒忠史

川崎定期演奏会第 77 回

2020 年 10 月 9 日（金）6:30p.m. ミューザ川崎  
第 684 回定期演奏会

2020 年 10 月 11 日（日）2:00p.m. サントリーホール

川崎定期演奏会第 78 回

2020 年 10 月 15 日（木）6:30p.m. ミューザ川崎  
第 685 回定期演奏会

2020 年 10 月 17 日（土）6:00p.m. サントリーホール

シェーンベルク：交響詩「ペレアスとメリザンド」op.5

ワーグナー：楽劇「トリスタンとイゾルデ」第 1 幕

ワーグナー：楽劇「トリスタンとイゾルデ」第 2 幕 & 第 3 幕

ブライアン・レジスター（トリスタン）

飛ぶ鳥を落とす勢いで活躍する、いまもっとも注目されているヘルデン・テノールの一人。輝かしく、ドラマティックで力強い歌声が高く評価されている。幅広いレパートリーを誇るが、近年ではワーグナー作品を主なレパートリーにしている。

リサ・リンドストローム（イゾルデ）

ドラマティック・ソプラノとしてまさに世界で活躍する歌手。トゥーランドットからエレクトラ、ブリュンヒルデまで幅広い役柄をレパートリーに持つ。2019/20 年シーズンもハンブルク歌劇場、ライプツィヒ歌劇場等でワーグナー作品に出演。

クラウディア・マーンケ（ブランゲーネ）

2013 年、K. ペトレンコ指揮《ラインの黄金》《ワルキューレ》でフリッカ等を歌ってバイロイト音楽祭にデビュー。2019/20 年シーズンはケルン・オペラで《トリスタンとイゾルデ》ブランゲーネ、ハンブルク歌劇場では《パルシファル》クンドリ等、ワーグナー作品への出演多数。

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO  
SHINJUKU-KU  
TOKYO 169-0073 JAPAN  
Phone +81 (0)3-3362-6764 Fax +81 (0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F  
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI  
KANAGAWA 212-8554 JAPAN  
Phone +81 (0)44-520-1518 Fax +81 (0)44-543-1488

### ミハイル・ペトレンコ (マルケ王)

世界で最も人気の高いバス歌手のひとり。《トリスタンとイゾルデ》マルケ王をはじめ、ワーグナー作品のあらゆる役柄を演じている。2016年、東京交響楽団創立60周年記念ベルリオーズ「ファウストの劫罰」メフィストフェレス役で出演。その抜群の声質と演技力が高く評価された

### マルクス・ヴェルバ (クルヴェナール)

ジョナサン・ノット指揮モーツァルト《コジ・ファン・トゥッテ》(2016年・演奏会形式)グリエルモ、《フィガロの結婚》(2018年・演奏会形式)フィガロで、その豊かな歌唱とユーモア溢れる演技が絶賛された。ワーグナー作品は、ザルツブルク音楽祭での《ニュルンベルクのマイスタージガー》ベックメッサーを歌っており、今回がロール・デビューとなる。

### アンジェロ・ポラック (水夫、メロート、牧童)

2013年ザルツブルク音楽祭ヘガッティ指揮《ニュルンベルクのマイスタージンガー》でデビュー。ジョナサン・ノット指揮モーツァルト《フィガロの結婚》(2018年)バジリオとドン・クルツィオで出演(2018年)。その輝かしい歌声が注目を集めた。

### 高田智士 (舵手)

国立音楽大学卒業。同大学院歌曲専攻、新国立劇場オペラ研修所及び Akademie für Tonkunst Darmstadt KA-A オペラ科修了。ドイツにて研鑽を積む。昨年は、二期会『金閣寺』(マキシム・パスカル指揮東京交響楽団)鶴川で出演、今後益々の活躍が期待されている。二期会会員

### 彌勒忠史 (演出)

平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。千葉大学大学院修了。東京藝術大学卒業。CD「No early music, No life?」(朝日新聞推薦盤)など。著作『イタリア貴族養成講座』(集英社)、『歌うギリシャ神話』(アルテス・パブリッシング)など。NHKラジオ・イタリア語講座講師。在日本フェッラーラ・ルネサンス文化大使。男声ユニット La Dill リーダー。二期会会員

—— 音楽監督ジョナサン・ノット指揮公演 ——

UK in JAPAN 2019-20 参加イベント

藤倉 大:海 エルガー:エニグマ変奏曲

ウォルトン:オラトリオ「ベルシャザールの饗宴」～バリトン独唱、混声合唱とオーケストラのためのカンタータ  
＜4月定期&川崎定期＞

「日英交流年 UK in JAPAN 2019-20」スペシャル・イギリスプログラム。日英の架け橋となる藤倉の作品、ロンドンオリンピック開会で演奏されたニムロッドを含むエニグマ変奏曲、ソリストとコーラス付きのイギリスを代表するウォルトンの大作は、聴き応え十分。

ストラヴィンスキー×酒井健治×ベートーヴェン 2番＜4月オペラシティ＞

ノット&東響が積み上げてきたベートーヴェンの交響曲の最後となった第2番を、ストラヴィンスキーの洒落な曲との組み合わせで。ノット監督が世界に送り出したとも言える酒井の協奏曲「G線上で」には近年の活躍が目覚ましい辻彩奈が登場。

ラッヘンマン×マーラー 5番＜7月定期＞

今や世界から注目されるノット&東響の次なるマーラーは、待望の第5番！ドイツを中心に世界的評価を得ているロータス・カルテットを迎えてのラッヘンマン「ドイツ国家を伴う舞踏組曲」とのプログラミングは刺激的！

はげ山の一夜×ベリオ×「悲愴」＜7月オペラシティ＞

音楽監督ノットが長いキャリアの中で初めて挑む悲愴交響曲と、「はげ山の一夜」の原典版による捻りの利いたアイデア。イタリアの天才作曲家ベリオの難曲ヴィオラとオーケストラのための「声 (Voci)」をカップリングするなど、『民族音楽』をテーマにしたプログラミングが光る。

矢代秋雄×ブルックナー 6番＜11月定期&名曲全集＞

ノット&東響が、3番、7番、8番、5番、9番と取り上げ着実に成果を上げてきたブルックナー。今シーズンは、ノット自身も初めて指揮する6番に期待が高まる。小菅を迎えての矢代のピアノ協奏曲とのカップリングの妙にも注目。

第九＜12月＞

2019年からスタートした音楽監督ジョナサン・ノット指揮による年末第九公演。2年目もノット監督が厳選した気鋭の若手からベテランの歌手陣をソリストに迎える。

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO  
SHINJUKU-KU  
TOKYO 169-0073 JAPAN  
Phone +81(0)3-3362-6764 Fax +81(0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F  
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI  
KANAGAWA 212-8554 JAPAN  
Phone +81(0)44-520-1518 Fax +81(0)44-543-1488

————東響指揮者陣による公演————

桂冠指揮者ユベール・スダーン<6月定期&川崎定期>は東響の音楽的支柱を作りあげた大切なレパートリーに再び立ち返るベートーヴェン×メンデルスゾーンプログラムを。名誉客演指揮者大友直人<10月オペラシティ>は、なかにし礼の台本、千住明作曲とタッグを組み新曲に取り組む。ベートーヴェン生誕250年の年を締めくくるのは桂冠指揮者秋山和慶<12月オペラシティ>。フレッシュな顔ぶれと共に「第九とエグモント」を楽しむ一夜を。現在正指揮者で2020年4月から特別客演指揮者となる飯森範親は<5月名曲全集>で自身の誕生日(5/17)に花を添える。

————客演指揮者公演————

下野竜也<5月定期>2002年の東響定期デビューから18年目、優れた手腕と音楽性が高く評価されている下野が「ベートーヴェン生誕250年」をフィデリオ序曲とレオノーレ序曲1番・2番・3番を揃えた個性あるプログラミングで飾る。

沼尻竜典<6月オペラシティ>自身もピアノを弾く沼尻が「2001年のブゾーニ：協奏曲（日本初演）での感動が今も忘れられない」と言う巨匠マルカンドレ（マルク＝アンドレ）・アムランと共演。「皇帝」「英雄」の豪華2作品を。

マキシム・エメリヤニチェフ<9月オペラシティ>2018年に当楽団で日本デビューし絶賛を博したエメリヤニチェフは1988年ロシア生まれ。鬼オクルレンツィス率いるムジカエテルナの通奏低音奏者として活躍、現在は「2019年オペラ・アワード」新人賞の受賞など、若い世代の最も才能のある指揮者として認められている。

リオネル・ブランギエ<9月定期&新潟定期>早くも2度目の定期登場となる若き天才ブランギエは、第2次世界大戦中に作曲された東欧作曲家による二つの「管弦楽のための協奏曲」という英知に富んだプログラム。

原田慶太楼<9月名曲全集>鐵による珍しいピアノ協奏曲、そして目覚ましい活躍を続けている原田の指揮によるプロコフィエフの代表作（1950年東宝交響楽団（のちの東京交響楽団）日本初演）に乞うご期待。

梅田俊明<10月名曲全集>的確な棒さばきと音楽に対する誠実な姿勢でオーケストラからの信頼も厚い梅田が、意欲的なプログラムで「名曲全集」初登場。

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO  
SHINJUKU-KU  
TOKYO 169-0073 JAPAN  
Phone +81(0)3-3362-6764 Fax +81(0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F  
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI  
KANAGAWA 212-8554 JAPAN  
Phone +81(0)44-520-1518 Fax +81(0)44-543-1488

ミケーレ・マリオッティ<12月定期&新潟定期>イタリア若手指揮者三羽鳥の一人として世界的注目を集める俊英マリオッティが東響定期初登場。歌曲王シューベルトの大交響曲での歌心溢れる音楽性が期待される。

大植英次<2021年1月川崎定期>ミネソタ管音楽監督、ハノーファー北ドイツ放送フィル首席指揮者等世界的なキャリアを誇る大植英次がオール・チャイコフスキープログラムで川崎定期初登場。

沖澤のどか<2021年1月名曲全集> 2019年9月第56回ブザンソン国際若手指揮者コンクールで見事優勝した沖澤のどか。いち早く名曲全集に登場。ひとつであるがふたつ(?)の協奏曲を取り上げる。

ジャンルイジ・ジェルメッティ<2021年2月名曲全集>「ロッシーニ指揮者」としても名高いイタリアの巨匠ジェルメッティを迎えておおくりする「イタリア」特集。特にロッシーニ序曲集は必聴。

井上道義<2021年3月定期>今や井上道義の代名詞とも言うべきショスタコーヴィチの交響曲から、苦悩と煩悶に満ち、叙情的かつ幻想的でもある第6番を引っ提げて東響定期へ久しぶりの登場!

ジョナサン・ブロクスハム<2021年3月名曲全集>P.ヤルヴィが育てたブロクスハムはこれからの活躍が楽しみな指揮者の一人。そしてクララ・ハスキルコンクール、チャイコフスキーコンクールのモーツァルトが絶賛された藤田。ともに今後注目したい演奏家。

## ——こども定期演奏会——

19年目を迎える「こども定期演奏会」(年4回)の2020年度のテーマは、<音楽世界めぐり>。下野竜也、川瀬賢太郎、原田慶太楼、飯森範親の各指揮者が構成した、他にはない個性豊かなプログラムを、若手実力派ソリストたちとともにおくる。こども作曲家、こども奏者、こどもレセプショニストなど、多彩な併催企画は例年通り。過去のこども奏者からは、当楽団奏者をはじめ多くのプロ演奏家が誕生している。(共催：サントリーホール)

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO  
SHINJUKU-KU  
TOKYO 169-0073 JAPAN  
Phone +81(0)3-3362-6764 Fax +81(0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F  
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI  
KANAGAWA 212-8554 JAPAN  
Phone +81(0)44-520-1518 Fax +81(0)44-543-1488

—音楽・動画配信サービス『TSO MUSIC & VIDEO SUBSCRIPTION』—

(2018年11月6日開始)

2018年、日本のオーケストラとして、初めてスタートした『TSO MUSIC & VIDEO SUBSCRIPTION』は、スマートフォン、タブレット、パソコンで東京交響楽団の演奏をお楽しみいただける音楽・動画配信サブスクリプションサービスです。**1か月500円(税別)**で音楽と動画を見放題、聴き放題でお楽しみいただけます。

2019年9月末現在、動画4つ、音源20曲、楽団公式グッズセットを掲載しています。

\*パソコンではストリーミング配信で音楽・動画を視聴していただけます。

\*スマートフォン・タブレットでは、動画はストリーミング配信で、音源は専用のFans' Playerアプリをダウンロードして視聴し、オフライン環境でも視聴可(iOS/Android対応)です。



TSO MUSIC & VIDEO SUBSCRIPTION 公式サイト→

<https://tso.futureartist.net/>

▼2020年度公演のFans'配信予定の公演(都合により変更となる場合もございます)

\*特記以外はすべて音楽監督ジョナサン・ノット指揮

<動画>

2020年7月18日(土)東京オペラシティシリーズ第116回

ムソルグスキー：はげ山の一夜(原典版) チャイコフスキー：交響曲第6番「悲愴」

2020年7月25日(土)第682回定期演奏会

マーラー：交響曲第5番

2020年11月15日(日)第686回定期演奏会

ブルックナー：交響曲第6番

<音源>

2020年4月18日(土)東京オペラシティシリーズ第114回

ベートーヴェン：交響曲第2番

2020年4月25日(土)第679回定期演奏会

エルガー：エニグマ変奏曲

2020年6月26日(金)第681回定期演奏会

メンデルスゾーン：交響曲第3番「スコットランド」(ユベール・スダーン指揮)

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO  
SHINJUKU-KU  
TOKYO 169-0073 JAPAN  
Phone +81(0)3-3362-6764 Fax +81(0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F  
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI  
KANAGAWA 212-8554 JAPAN  
Phone +81(0)44-520-1518 Fax +81(0)44-543-1488

## 東京交響楽団

1946年、第二次世界大戦によって中断された音楽文化の再建と、新しい舞台音楽の公演を目標に「東宝交響楽団」として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。

現代音楽やオペラの初演に定評があり、これまでに文部大臣賞、京都音楽賞大賞、文化庁芸術作品賞、モービル音楽賞、サントリー音楽賞、ミュージック・ペンクラブ音楽賞など日本の主要な音楽賞の殆どを受賞している。また、2013年には川崎市文化賞を受賞した。舞台芸術創造活動活性化事業として文化庁の助成を受け、サントリーホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市とフランチャイズ、新潟市と準フランチャイズ、(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団とパートナーシップ提携し、コンサートやアウトリーチなどを積極的に展開している。これら地域に密着した活動の一方で、海外においても58都市で78公演を行い、国際交流の実を挙げてきた。また、新国立劇場では1997年の開館時からレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演に出演。さらに、子どものための演奏会にもいち早く取り組んでおり、「0歳からのオーケストラ」「こども定期演奏会(サントリーホールとの共催)」は多方面から注目されている。

東日本大震災を機に、2011年5月から楽団員によるチャリティコンサート「Concert For Smiles」を定期的で開催。その募金は(公財)国際開発救援財団を通じて被災地に役立てられている。

録音や放送においても活発で、TOKYO SYMPHONY レーベル、N&F レーベル、キングレコード、EXTON レーベル、日本コロムビア等から多数リリースし、テレビ朝日「題名のない音楽会」へレギュラー出演している。

2014年度シーズンより、ジョナサン・ノットが第3代音楽監督に就任。正指揮者に飯森範親、桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、名誉客演指揮者に大友直人を擁す。2016年に創立70周年を記念し、ウィーン楽友協会を含むヨーロッパ5カ国で公演を行う。また2018年8月には日中平和友好条約締結40周年を記念し上海・杭州にて公演を行い、日中の文化交流の役割を果たした。

公式サイト <http://tokyosymphony.jp>

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO  
SHINJUKU-KU  
TOKYO 169-0073 JAPAN  
Phone +81(0)3-3362-6764 Fax +81(0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F  
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI  
KANAGAWA 212-8554 JAPAN  
Phone +81(0)44-520-1518 Fax +81(0)44-543-1488

———#東響 2020 (ハッシュタグ東響 2020)———

2020 年度シーズン、東京交響楽団の公式 SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラム）では、シーズンを通じて「#東響 2020 (ハッシュタグ東響 2020)」とともに、様々な情報をアップしていきます。

公式ツイッター [https://twitter.com/Tokyo\\_Symphony](https://twitter.com/Tokyo_Symphony)  
公式フェイスブック <https://www.facebook.com/tokyosymphony>  
公式インスタグラム [https://www.instagram.com/tokyo\\_symphony/](https://www.instagram.com/tokyo_symphony/)

———プレスルームのご案内———

2020 年度シーズン出演のアーティスト写真をはじめ、東京交響楽団の指揮者陣、オーケストラ写真、プレスリリースを掲載しているマスコミの皆様専用ページです。

プレスリリースはスマートフォンからも閲覧可。プロフィール、アーティスト写真は PC からのみ 閲覧 & ダウンロード可能です。



←プレスルーム [tokyosymphony.jp/press](http://tokyosymphony.jp/press)

【取材等お問合せ】公益財団法人東京交響楽団 広報本部

高瀬 [takase@tokyosymphony.com](mailto:takase@tokyosymphony.com) 伊藤 [ito@tokyosymphony.com](mailto:ito@tokyosymphony.com)

TEL: 044-520-1518 FAX: 044-543-1488